

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '桜川市都市計画マスタープラン策定事業' and '計画的な土地利用の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the master plan and reporting process.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for activities like committee meetings and targets like citizen numbers.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方法債, etc.

Table showing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費 予算 (千円). Includes a row for 'O1 報酬' with a value of 57.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a note about entering content for each year and a list of main activities.

事務事業名	桜川市都市計画マスタープラン策定事業	事務事業No.	50104000764	所属課	都市整備課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? H31年2月27日付で都市計画マスタープランと土地利用基本計画(桜川市土地利用基本条例第6条第1項の規定による「土地利用基本計画」)の役割を兼ね備える「桜川市田園都市づくりマスタープラン」を策定した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? H21年3月に市議会が「調整区域の撤廃及び都市計画区域見直しを求める請願」を採択したこと等から、都市計画マスタープランには、市街化調整区域における都市計画制度の見直しに関する方針(地区計画の策定に関する方針)を示す必要がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	第2次総合計画(前期基本計画)に掲げる「快適な暮らしのまちづくり」を実現させるためには、新市統一の都市計画マスタープランの下、適正かつ合理的な都市計画制度の構築を図ることが不可欠である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	都市計画法で都道府県又は市町村の事務事業(自治事務)と規定されている。なお、国の技術的助言の性格を有する「都市計画運用指針」では、都市計画の中心的主体は市町村とされている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	市職員の直営作業と外部委託との適切な役割分担によって事務事業の効率化を図っている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響無	「桜川市田園都市づくりマスタープラン」の計画期間は令和22年(西暦2040年)までとされていることから、当面の間、本事務事業については「都市計画の見直しに関する事務」に統合することが妥当である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的な手段、事務事業名 都市計画の見直しに関する事務 「桜川市田園都市づくりマスタープラン」の計画期間は令和22年(西暦2040年)までとされていることから、当面の間、本事務事業については「都市計画の見直しに関する事務」に統合することが妥当である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	市職員の直営作業と外部委託との適切な役割分担によって事務事業の効率化を図っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	都市計画の見直しは、特定の個人に止まらず、市民全般に影響を与えるものであり、受益機会・費用負担は公正・公平であると考えられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成31年2月27日付で策定した「桜川市田園都市づくりマスタープラン」の計画期間が令和22年(西暦2040年)までとされていることから、当面の間、本事務事業については「都市計画の見直しに関する事務」に統合することが妥当である。													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上				維持				低下			
成果	向上													
	維持													
	低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	④													
コスト削減優先度評価結果	-													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 確認 H31.4.16 確認しました。
---	---